

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
施設・設備の整備	① 利用定員が指導訓練室などスペースとの関係が適切であるか	1	3	2	
	② 職員の配置数は適切であるか	1	2	3	
	③ 子どもにとって危険が伴うような、施設や備品の損壊・故障などはないか	5	1		
	④ ガラス窓や照明器具などの破損によるガラスの飛散が起こらないような対策をとっているか	6			
	⑤ 子どもの行方不明や、部外者の勝手な侵入が起こらないような対策をとっているか	5	1		
業務改善	⑥ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	2		
	⑦ 保護者向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して、保護者などの意向などを把握し業務改善につなげているか	5	1		
	⑧ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	2	1	
	⑨ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3		
	⑩ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	3		
適切な支援の提供	⑪ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで個別支援計画を作成しているか	6			
	⑫ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		1	
	⑬ 活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	4	2		

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見
適切な支援の提供	⑭ 休日、長期休暇に応じて課題を決め細やかに設定して支援しているか	6			
	⑮ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		
	⑯ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1		
	⑰ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、支援の振り返りを行い気づいた点などを共有しているか	3	2	1	その日ではなく翌日に行っている。
	⑱ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			
	⑲ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	6			
	㉑ 学校との情報共有(年間行事・行事予定などの交換、子どもの下校時刻の確認など)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	1		
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医などと連絡体制を整えているか		5	1	受け入れが今のところ無い。
	㉓ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	1	2	依頼があれば情報提供をしている
	㉔ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	1	
	㉕ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		3	3	
	㉖ (地域自立支援)協議会などへ積極的に参加しているか	2	1	3	
	㉗ 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	3		
㉘ 協力をしてもらえる医療機関と協定を結んで、子どもの病気やけがなどに関する緊急の事態に対応できるようにしているか	6				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
実践的な力量の向上	②9	子どものことが分からないと感じた時、早わかりしようとせず、(どうしてなのか)と自らに問い続けているか	5	1		
	③0	子どものことが分からないと感じた時、傍観するのではなくて働きかけて変化を作りだし理解しようとしているか	5	1		
	③1	子どものことが分からないと感じた時、独りよがりの判断をせず、ほかの職員に意見を聴くなどしているか	5	1		
	③2	子どもの問題行動に出会うとき、その内側にその子の本当の願いが隠されていると考えて内面を探ろうとしているか	4	2		
	③3	気持ちの育ち(人格形成)には、その子固有のテンポがあるということを押さえて子どもを理解しようとしているか	5	1		
	③4	子どもの発達は、ひたすら前進するのではなくて新しい矛盾を抱え込むと押さえて子どもを理解しようとしているか	4	2		
	③5	学校で頑張ってきた後の活動という生活の流れを意識して子どもを理解しようとしているか	5	1		
	③6	遊びや生活を通じて子どもの気持ちの育ち(人格の形成)をはかっていくことを意識して子どもに働きかけているか	6			
	③7	子どもの育ちの状況を確認、保護者の意見を聞いて個別支援計画書を半年に一回は見直し、作成しているか	6			
	③8	会議や研修会を定期的に開いて、子ども理解や実践などについて深めたり学習したりしているか	6			
③9	子どもの理解や実践についての、外部の学習会や講座に参加して見識を高めようとしているか	4	2			
保護者への説明責任等	④0	運営規定、支援の内容、利用者負担などについて適切な説明を行っているか	5	1		
	④1	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			
	④2	父母会の活動を支援したり、保護者会などを開催するなどにより、保護者同士の連携を支援しているか	2	4		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
保護者への説明責任等	④③ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1		
	④④ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			
	④⑤ 個人情報に十分注意しているか	6			
	④⑥ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営を図っているか		3	3	
非常時の対応	④⑦ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	2		
	④⑧ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			
	④⑨ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する	5	1		
	④⑩ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うのかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明しているか	5	1		
	④⑪ 食物アレルギーのある子どもについて対応がなされているか	6			
	④⑫ ヒヤリハットを作成して事業所内で共有しているか	1	2	3	

まとめ

- ・職員の急な休みが出ないよう事前に休み希望を聞き、人手が足りない状況をできるだけなくしていく。どうしても人手が足りない時は他事業所に声を掛ける。
- ・コロナが落ち着いたら、地域の活動にできるだけ参加し、顔の見える関係を作っていく。
- ・ヒヤリハットが有効に使われていない状況なので、職員に対して声を掛け有効活用していく。